

令和8年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立鯉江中学校

令和8年4月

## 1 学校運営の中期目標

### 現状と課題

教育目標「人間尊重の教育を一層深化・充実させるとともに、基礎学力の定着と自立的な生活習慣の育成に努める。」の達成に向け、生徒の「規範意識」の醸成と「集団づくり」の重要性を再確認し、取り組みを重ねてきた。

その結果、落ち着いた教育環境のもと、全国学力・学習状況調査、チャレンジテスト、チャレンジテスト plus、英語力調査において、全学年・全教科で正答率が全国・府・市の平均を上回っている。また、生徒質問紙における生活習慣や学習習慣、規範意識についても全体として良好な状態にある。今後はこれに満足することなく、新しい時代に求められる資質・能力の育成を見据えた授業改善を一層推進していく必要がある。

一方で、不登校生徒が多いことが大きな課題である。すべての子どもたちが安心して過ごせる学校づくりの推進が急務である。急速に変化する社会において、生成 AI の活用や多様性の包摂など、求められる教育の在り方も大きく変化している。さらに、教員不足といった課題もあり、教育活動の一層の工夫と充実が求められている。今後は、SSR の充実を図るとともに、生徒・教職員の誰もが安心して過ごせる学校づくりを推進していく。

### 中期目標

#### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和 11 年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 86%以上にする。
- 令和 11 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を令和 7 年度末より 3 ポイント以上減少させる。
- 令和 11 年度目標アンケートにおける「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 86%以上にする。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 11 年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 90%以上にする。
- 令和 11 年度の大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合を 75%以上にする。
- 令和 11 年度目標アンケートにおける「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 86%以上にする。

#### 【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 11 年度目標アンケートにおける「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する生徒の割合を 85%以上にする。
- 令和 11 年度の時間外勤務時間について、年 720 時間を超えて実施する教員をゼロにする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度目標アンケートにおける「保護者との間にスマートフォン等（インターネットを通じたゲーム・動画・SNS等の利用（パソコンや携帯電話・タブレット端末を含む））を利用する時のルールはありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を75%以上にする。
- 年度目標アンケートにおける「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 中学生チャレンジテストにおける、国語の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.03ポイント向上させる。
- 中学生チャレンジテストにおける、数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.03ポイント向上させる。
- 年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を86%以上にする。
- 大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合を71%以上にする。
- 年度目標アンケートにおける「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 年度目標アンケートにおける「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する生徒の割合を75%以上にする。
- 年度目標アンケートにおける「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。
- 時間外勤務時間について、月100時間以上実施する教員をゼロにする。

### 3 本年度の自己評価結果の総括

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>○年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>○年度目標アンケートにおける「保護者との間にスマートフォン等（インターネットを通じたゲーム・動画・SNS等の利用（パソコンや携帯電話・タブレット端末を含む））を利用する時のルールはありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を75%以上にする。</p> <p>○年度目標アンケートにおける「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向2 豊かな心の育成(道徳教育の推進)】</b></p> <p>全校集会や各学年集会、各学級において、学校の規則を守ることにについて、全教職員で日常的に指導する。</p> <p><b>指標</b> 「学校の規則を守っていますか」で肯定的回答が90%超を維持するように指導を続ける。</p>	
<p><b>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成(道徳教育の推進)】</b></p> <p>特別の教科道徳の体制づくりをすすめる。</p> <p><b>指標</b> 教材研究と振り返りシートの作成をすすめる。自己評価シートを含め、評価方法について研究していく。</p>	
<p><b>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成(人権を尊重する教育の推進)】</b></p> <p>教育相談週間を設け、生徒の悩みや困っていることを細やかに聞き取り、問題がある場合には、速やかに解決し、生徒との信頼関係を確固たるものとする。</p> <p><b>指標</b> ・教育相談を年2回行う。 ・3学期の生徒アンケートで信頼関係に関する項目で、70%を上回るように努める。</p>	
<p><b>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成(キャリア教育の推進)】</b></p> <p>自らの進路選択に向けて、望ましい職業観、勤労観を育成するため、3年間見通した系統的な指導を行っていく。</p> <p><b>指標</b> 3学期の生徒アンケートで、「中学校では、進路学習や将来について考える機会がある」という項目で肯定的な回答の割合を70%以上にする。</p>	

<p><b>取組内容⑤【基本的な方向2 豊かな心の育成(人権を尊重する教育の推進)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生で「環境」・2年生で「平和」・3年生で「人権」学習に取り組む。</li> <li>・各学年で外部講師を招聘し、性教育について学ぶ機会を設ける。</li> </ul> <p><b>指標</b> 「学校では道徳の授業以外にも人権・平和・環境・生命の大切さについて学ぶ機会がある」の項目について、「あてはまる(ややあてはまる)」と回答する割合を90%以上にする。</p>	
<p><b>取組内容⑥【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現(防災・減災教育の推進)】</b></p> <p>年間指導計画に沿って、防災教育に関する授業や集会を実施する。</p> <p><b>指標</b> 映像教材などを用いて、年に2回防災教育(火災1回と地震・津波1回)を行う。</p>	
<p><b>取組内容⑦【基本的な方向2 豊かな心の育成(インクルーシブ教育の推進)】</b></p> <p>一人ひとりの特性に応じた専門的な指導の充実と、家庭との連携強化</p> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の特性に最適化した教材・ICT活用を抽出授業で実施し、成功体験を積ませる。</li> <li>・個別の指導計画の振り返りにおいて、生徒本人が「できた」と実感できる項目を必ず1つ以上設定する。</li> <li>・保護者との連絡を密に行い、学校での成功事例を積極的に共有することで、家庭と連携した自己肯定感の育成を図る。</li> </ul>	
<p><b>取組内容⑧【基本的な方向2 豊かな心の育成(芸術鑑賞)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術鑑賞を通して、子供たちの豊かな想像力・創造力や、思考力を養い、教養を深める。</li> <li>・多様な文化芸能に触れ、鑑賞態度やマナーなど、社会性を身につけさせる。</li> </ul> <p><b>指標</b></p> <p>事後アンケートにおいて、鑑賞行事についての肯定的回答を90%以上にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	
次年度への改善点	
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>○中学生チャレンジテストにおける、国語の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.03 ポイント向上させる。</p> <p>○中学生チャレンジテストにおける、数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.03 ポイント向上させる。</p> <p>○年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 86%以上にする。</p> <p>○大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合を 71%以上にする。</p> <p>○年度目標アンケートにおける「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること）」が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上(習熟度別少人数授業の充実)】</b></p> <p>国語科・数学科・英語科における習熟度別授業、チームティーチング授業を充実させることで、基礎学力を定着させ、応用力をつけることを図る。</p> <p><b>指標</b> 習熟度別授業やチームティーチング授業を実施計画どおりに実践し、生徒アンケートにおいて、「先生方は、わかりやすくていねいに教えてくれている」という肯定的回答が昨年度(95.5%)と同程度か上回るようにする。</p>	
<p><b>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上(自主学習習慣の確立)】</b></p> <p>家庭学習の大切さ、特に復習や自主学習の重要性の指導を行い、家庭学習、自学自習していく取り組む態度の育成を行う。</p> <p><b>指標</b> 生徒アンケートの「宿題以外に、予習・復習や問題集を解くなど家庭学習に取り組んでいる」で、当てはまらないという回答割合を8%以下にする。</p>	
<p><b>取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上(国語)】</b></p> <p>ノートなどの提出物点検や小テストをこまめに実施し、基本的な事項についての定着を図る。また、ICTを活用した授業の充実に努める。さらに、短歌、俳句、作文などの創作を通して、書く力、表現力をつけさせ、語彙を豊かにする。</p> <p>総合的読解力育成カリキュラムを授業に取り入れ、読解力を中心とした、思考力・判断力・表現力の育成を行う。</p>	

<p><b>指標</b> 漢字などの点検や小テストを、年間20回以上実施する。</p> <p>また、デジタル教材を活用した授業を学期に1回実施する。</p> <p>学期に1回、短歌、俳句、作文などの創作活動に取り組む。</p>	
<p><b>取組内容④【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上(社会)】</b></p> <p>課題を与え自主学習の習慣を養い、提出を確認し、生徒の学力を把握する。</p>	
<p><b>指標</b> 定期的実施し、8割の提出率を目指す。</p>	
<p><b>取組内容⑤【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上(数学)】</b></p> <p>習熟度別授業を行い、生徒が質問しやすい環境を整えるとともに、個別指導の機会を増やし、次年度を見据えて ICT 教材をより一層効果的に活用し、授業内容の定着を図る。また、「物事を数学的に考え、処理する力」、さらに「思考・判断・表現力」を養うために考えたことを表現する機会を設ける。</p>	
<p><b>指標</b> 生徒アンケートにおいて、「数学の授業は分かる」と「授業ではICT機器を効果的に活用している」という2つの項目について、肯定的回答が70%を上回るようにする。また、考えたことを表現する機会を週2時間以上設ける。</p>	
<p><b>取組内容⑥【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上(理科)】</b></p> <p>ノートなどの提出物の点検や小テストの実施により基本的な事項についての定着を図る。実験・観察授業を通して、事象や結果を分析し、科学的な思考・判断・表現ができるようにするとともに、より強い関心を持たせるようにする。</p>	
<p><b>指標</b> 生徒アンケートの「理科の授業は楽しい」という項目について、肯定的回答が70%を上回るようにする。</p>	
<p><b>取組内容⑦【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上(音楽)】</b></p> <p>音楽的な見方・考え方を働かせ、表現および鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を磨き、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。</p>	
<p><b>指標</b> 表現活動に対して意欲的に工夫して表現しようとする生徒、鑑賞活動に対してより深く楽曲を理解し、豊かな感性を持って鑑賞する生徒を育成する。各単元のプリントやワークシート等の完成度を80%以上にする。</p>	
<p><b>取組内容⑧【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上(美術)】</b></p> <p>一人一人が鑑賞、作品制作などの活動から自己を表現し考え、制作の過程で色彩や情操などを感じる力、美術についての理解を深め、美術を愛好する心情を育てる。</p>	
<p><b>指標</b> 制作・鑑賞の授業を通し、美術を愛好する心情を育てる。作品制作後には、どのように考え制作を行ったのかの振り返りを行い次の活動に繋げていく。全体での作品完成率を80%以上にする。</p>	
<p><b>取組内容⑨【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上(保健体育)】</b></p> <p>種目ごとに個人に合わせた目標設定をし、達成感を味わえるような工夫をする。グループ活動を多く取り入れ、運動・スポーツへの興味関心を高め、体力向上を目指す。</p>	
<p><b>指標</b> 体力維持・向上を図るため、毎時間6種目以上の補強運動を行う。また、年に体力の振り返りができるような測定(50M 走や20M シャトルラン等)を定期的実施する。「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、<u>肯定的な「好き」「やや好き」と回答する生徒の割合を85%以上にする。</u></p>	
<p><b>取組内容⑩【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上(技術・家庭)】</b></p> <p>問題解決能力育成のための実技実習などを行い、私生活と技術・家庭で得た知識を活</p>	

<p>用できるようにする。また、基礎知識・基礎技能の定着を図る。さらに、学習端末と ICT の活用やグループ学習によって、学びを深める。</p>	
<p><b>指標</b> 実習作品の完成率を90%以上になるように努める。</p>	
<p><b>取組内容⑩【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上(英語)】</b></p> <p>基礎学力を定着させることにより、「読む・書く・聞く・話す」の4技能の向上をめざす。また、授業の中で自分の考えを表現したり、生徒間で対話したりする等の言語活動を計画的に実施し、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>	
<p><b>指標</b> 単語等の確認テスト、パフォーマンステストで65%以上の理解度をめざす。</p>	
<p><b>取組内容⑫【基本的な方向5 健やかな体の育成(体育科授業の充実)】</b></p> <p>新体力テストの実施前にそれぞれの種目においての必要なトレーニングを実施し、準備することにより、体力テストに向けての積極的な意識の構築に努める。</p>	
<p><b>指標</b> 全国体力・運動能力、運動習慣調査において、男女とも合計点で全国値を上回るようにする。また計画的に体育的設備、備品の充実を図る。</p>	
<p><b>取組内容⑬【基本的な方向5 健やかな体の育成(体育科授業の充実)】</b></p> <p>各学年での各種スポーツ大会を実施し、体力の向上、団結力の強化、ルール遵守等の精神を伸長する。また、生徒が主体となり積極的に取り組んでいけるよう工夫していく。</p>	
<p><b>指標</b> 各学年の実情に応じて、1回以上のスポーツ大会を行う</p>	
<p><b>取組内容⑭【基本的な方向5 健やかな体の育成(食育の推進)】</b></p> <p>食生活の大切さと食の安全の意識を向上させ、健全な生活習慣を確立させる。</p>	
<p><b>指標</b> 「食育つうしん」を毎月1回発行する。感染症対策とともに給食を安全に実施させ、食に関する知識と、正しい食習慣を身につけさせる。アレルギーのある生徒に対してはアレルギーシステム「つばさ」で本人・保護者・学級担任が確認を行い、安全な給食を徹底する。</p>	
<p><b>取組内容⑮【基本的な方向5 健やかな体の育成(健康教育の推進)】</b></p> <p>日々の健康観察や毎月の欠席調査、けが等の実態に基づく分析を行い、適切な指導へつなげていく。「保健だより」の活用と保健委員会の活動を充実させることによって、病気やけが等の防止に関する意識の向上を図っていく。また、自己を大切にし、将来における健康意識を高めるため、各種健診後の受診者数を増加させる。美化委員会の活動として健康や衛生的な環境を整備する。</p>	
<p><b>指標</b> 「保健だより」を毎月1回発行する。感染症対策を徹底するため、換気や手洗い・うがい、必要に応じてマスク着用などの指導や啓発活動を行う。再度、受診が必要な場合は、学級担任と協力し、保護者や生徒に対してきめ細かく連絡を行い、受診を勧める。保健委員会の活動として、健康に関するポスターづくりや集会での啓発活動を適宜行う。美化委員会の活動として毎月清掃点検を行い、校内美化に努める。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧
- ⑨
- ⑩
- ⑪
- ⑫
- ⑬
- ⑭
- ⑮

次年度への改善点

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧
- ⑨
- ⑩
- ⑪
- ⑫
- ⑬
- ⑭
- ⑮

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>○年度目標アンケートにおける「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する生徒の割合を75%以上にする。</p> <p>○年度目標アンケートにおける「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。</p> <p>○時間外勤務時間について、月100時間以上実施する教員をゼロにする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進(ICTを活用した教育の推進)】</b></p> <p>タブレット端末、デジタル教材を活用し、教師だけでなく、生徒の活用する機会を増やしていく。また、教師の使用機会を増やすために、使用したいソフトや機能の調査を行い、整備を行う。</p> <hr/> <p><b>指標</b> 年度末の生徒アンケートで「授業ではICT機器を効果的に活用している」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を80%以上にする。教職員へのアンケート調査を行う。</p>	
<p><b>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり(働き方改革の推進)】</b></p> <p>学校行事や各会議の精選を進めながら、業務全般の負担軽減につなげ、さらなる「働き方改革」の推進を図る。</p> <hr/> <p><b>指標</b> 教員の一人当たりの平均時間外勤務時間が、校種別の平均を下回る。</p>	
<p><b>取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援(読書活動の推進)】</b></p> <p>図書館の整備をし、読書活動を推進する。朝読書の実施・図書館を毎日開館する。</p> <hr/> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒アンケートで「読書が好きである」の項目について、「とても思う(そう思う)」と回答する生徒の割合が、60%を上回る。</li> <li>・図書館を毎日開館し、月別図書館利用者数において230人を上回る。</li> </ul>	
<p><b>取組内容④【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進(情報発信)】</b></p> <p>「開かれた学校づくり」を推進するために学校ホームページのタイムリーな更新や各通信の発行に努め、さらなる情報発信の活性化を図る。</p> <hr/> <p><b>指標</b> 年度末の保護者アンケートで、「学校の行事や教育活動、子どもたちの様子は、ホームページや通信(学年・学級だより等)や懇談会でよく知ることができる」の項目について、「よくあてはまる」と回答をする保護者の割合を前年度以上にする。(R7年度65.3%)</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
①	
②	
③	
④	
次年度への改善点	
①	
②	
③	
④	